

【 第22回男子ジュニア世界選手権 】

2017年7月15日～7月28日 スペイン・ヴィーゴ

試合結果報告 7 月 22 日 (月)

JAPAN	vs	アメリカ
5	1st	11
16	2nd	9
	ex	
	ex	
21	TOTAL	20

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
2	高野 颯太					0
3	末岡 拓美		2			2
6	服部 将成					0
7	徳田 廉之介	1	3			4
11	藤田 龍雅	2	3			5
13	矢野 世人		4			4
15	櫻井 睦哉	1				1
16	中村 光					0
17	朝野 翔一郎					0
21	中村 翼					0
22	高橋 海					0
25	川崎 駿	1	4			5
27	大杉 拓巳					0
29	磯田 健太					0
31	青 雅俊					0
32	露木 涼					0
TOTAL		5	16	0	0	21

戦況

予選ラウンド最終戦の相手はアメリカ。この試合に勝利し、予選ラウンドの5位同士が戦うプレジデントカップへの出場権をなんとかしてでも得たい日本の先発メンバーは、左ウイングから矢野、川崎、中村、徳田、櫻井、大杉、GK中村。

日本は前半、相手GKの壁を崩すことがなかなかできない。ノーマークのチャンスは作ることができるものの、肝心のシュートを決めることができない時間が続く。さらに、ここまでの4試合で対戦チームを苦しめてきた積極的なDFが陰をひそめ、アメリカにペースを握られてしまう。その結果、5-11のアメリカ6点リードで前半を折り返す。

後半のスタートから、日本はいつもの積極的なDFを展開、開始6分間相手に得点を許さない間に、川崎、矢野が速攻のノーマークシュートをしっかり決めるなど10-11と追い上げる。

そして、11分に徳田のミドルで13-13の同点に追いつくと、18分には藤田のサイドで17-14とし、この試合初めてアメリカに3点差をつける。その後7分間は、お互いに点を取り合い、残り5分の時点で21-17と日本のリードはこの日最大の4点となる。そのまま逃げ切りたかったが、残り3分の間に3連続得点を許してしまい、21-20で辛勝。

プレジデントカップに向けて、課題の残る試合となった。

報告記入者 :

船木 浩斗